



マーケット・レポート

Weekly Guide 2025.10.6

りそなグループのYouTubeで、最新のマーケット情報を配信しております！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

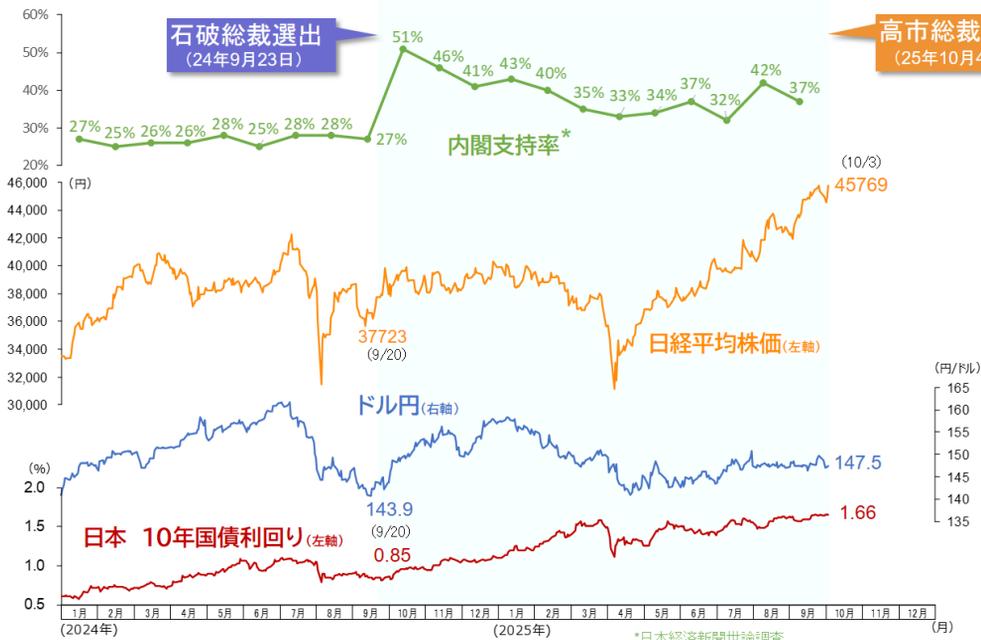
先週は、10月1日に米政府機関の一部閉鎖が始まりましたが、マーケットへの影響は限定的でした。株式市場では米国の連続利下げ期待を背景にAI関連株主導の上昇となり、主要株価指数の最高値更新が相次ぎました。週間騰落率は、NYダウが+1.1%、ナスダック総合指数は+1.3%、独DAX指数+2.7%、日経平均株価は0.9%上昇し4万5769円と最高値を更新しました。10年国債利回りは、米国が前週末比▲6bpの4.12%、独は同▲5bpの2.70%、日本は+1bpの1.66%で終わりました。ドル円は149円台で始まりましたが、日銀の追加利上げ観測の高まりを受け、週末は147円台半ばで引けました。

今週、国内市場は高市自民党新総裁選出の織り込みでスタートします。経済成長に積極的な政策が打ち出されるとの見方から、株高、金利高、円安が進む可能性があります。ただ、今後の連立協議、党役員人事、組閣など不確定要因が多い点には留意が必要と考えます。

当面の注目イベント

- ◆ 日・日銀支店長会議・地域経済報告 (6日)
- ◆ 日・8月家計調査 (7日)
- ◆ 米・9月NY連銀消費者期待インフレ率 (7日)
- ◆ 日・8月実質賃金総額 (8日)
- ◆ 米・9月FOMC議事要旨 (8日)
- ◆ 日・9月国内企業物価 (10日)

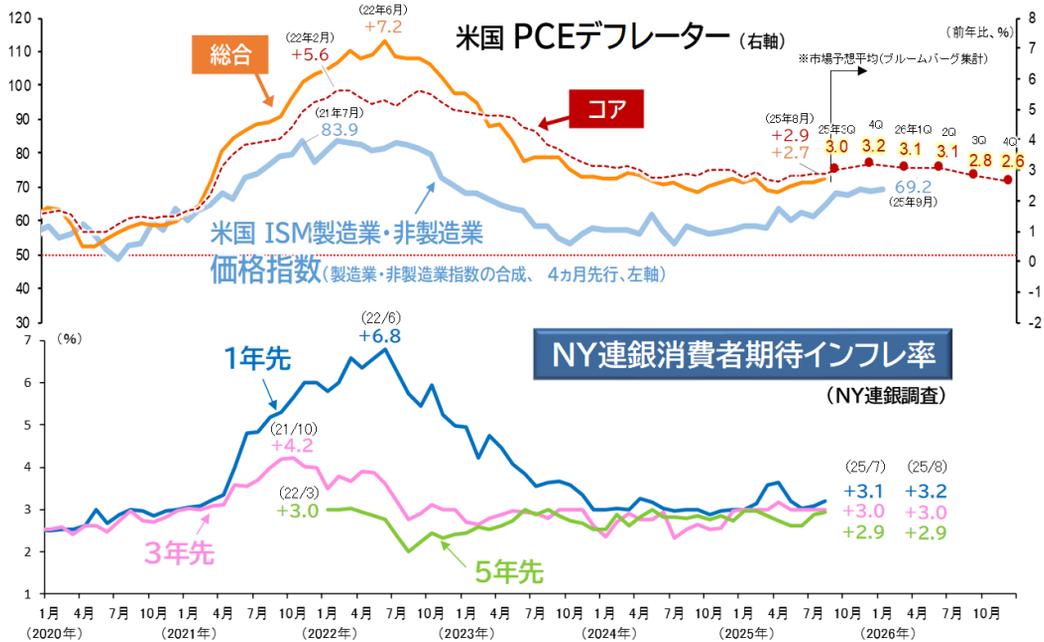
10月4日に行われた自民党総裁選で高市早苗氏が第29代総裁に選出されました。15日以降に予定されている臨時国会での首班指名、組閣、連立協議などを経て、どのような具体的経済政策が打ち出されるか注目されます



【出所】ブルームバーグ、日本経済新聞等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

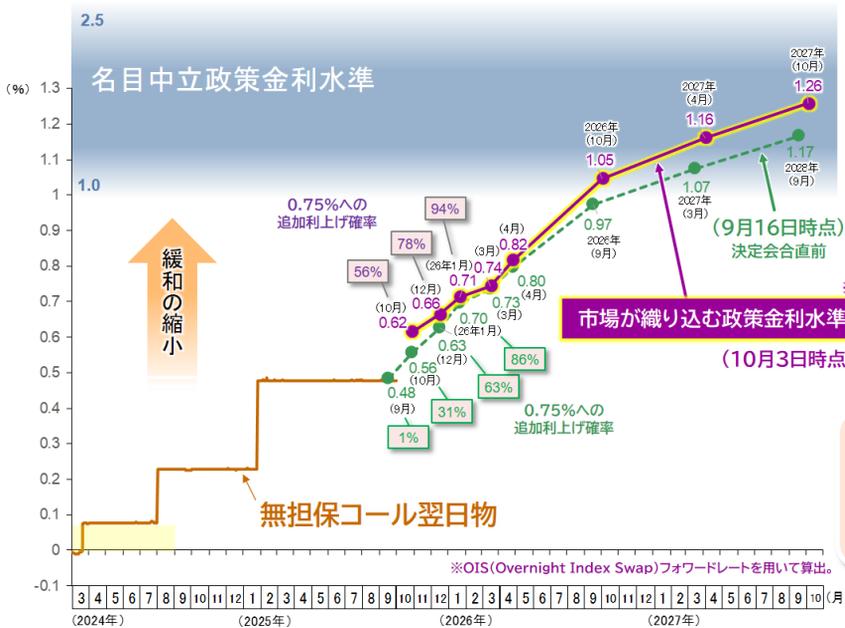
※最終ページの<当資料に関するご留意事項>を必ずご覧ください。

9月NY連銀消費者期待インフレ率が発表されます(7日)。FRB(連邦準備制度理事会)が重視する3年先・5年先期待インフレ率の低位安定が示された場合、10月末会合(28・29日)での追加利下げを後押しする材料となります



【出所】Haver Analytics等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

日銀短観で、自動車など大企業製造業の業況判断が改善したことを受け、市場が織り込む10月会合での利上げ(0.5%→0.75%)確率は56%に上昇しました(3日時点)。今週は、地域経済報告、9月企業物価などが注目されます



- 10月6日 日銀支店長会議
 地域経済報告(さくらレポート)
 7日 8月家計調査
 8日 8月実質賃金総額
 10日 9月企業物価
 生活意識に関するアンケート調査

【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

今回は 2025年10月20日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。